

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念も網羅した法人理念はある。事業所独自としては、「皆の誓い」を介護理念としているが、地域への繋がりを方針としたものが必要である。	理念に基づいた、地域への繋がりを方針とした「皆の誓い」を作成する ・職員全員が一致した関わりで機能や位置づけを意識するようになる	○グループホームの本来の機能と位置づけを理解し、法人理念に基づき、GHの理念である「皆の誓い」を作成する①まずは、管理者及び課長、主任で検討し原案を作成する②4月の職員会議で根拠に基づいた説明を行なう。その中で意見や質問などをもらい決定する③5月に正式に決定とする。「皆の誓い」に基づいた実践を具体化する。	3ヶ月
2	25	思いや意向の把握が十分とは言えない。職員全員で利用者の生活の活性化を図っていく必要がある。	・ケアプランの在り方の見直しを行う。 ・利用者個々の思いや意向の把握ができるよう必要なアセスメントを活かす。	・ケアプランの在り方を見直す⇒介護が必要なのかを知るために、アセスメントの研修・周知(包括的自立支援プログラム・認知症の人のためのセンター方式) ・利用者の真の思いについて研修し、本人視点、本人の立場に立った行動をとるように取り組む	12ヶ月
3	51	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけるられる事や、楽しみ事、気分転換等の支援が必要である。	・週に1回でも、短時間でも利用者ひとりでも戸外へでることを目標とする	・H30年度事業計画に挙げ、外出や戸外への散歩の頻度を把握できるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。